

市議会だより さつて

議会HPはコチラ
<https://www.city.satte.lg.jp/parliament/index.html>

幸手 議会



寒い冬に咲くサザンカの花言葉は「困難に打ち勝つ」です。

12月定例会のおもなことから

- ・ 令和7年12月定例会議案 …………… 2～6ページ
- ・ 各常任委員会での審査 …………… 6～7ページ
- ・ 市政に対する一般質問等 …………… 8～15ページ
- ・ 議決結果の一覧 …………… 16ページ

No.117
2026年
2月

幸手市の魅力や出来事、災害時の情報を発信します。幸手市公式LINE登録



ごあいさつ



幸手市議会 議長
青木 章

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

市議会は、子育て支援や高齢者福祉、環境保全、そして防災・減災の取り組みをはじめ、諸政策を一層強化し、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指してあります。市民の皆様と行政、そして市議会が一体となつてこそ地域は発展し、住みよい街は実現できます。改めて、市議会活動への皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今後、私たち議員一同、市民の皆さまの信頼に応えるべく、透明性の高い議論と責任ある決断を重ねてまいります。新しい年が、皆様にとって健康と幸せに満ちた一年となりますよう心から祈念いたします。新年のあいさつといたします。



幸手市長
木村 純夫

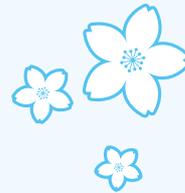
市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より市政運営に、格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年、市制施行四十周年という記念すべき節目を迎えます。市の魅力を再認識し、皆様に愛される「幸手市」を目指し、各種記念事業を実施し、皆様と一緒に祝いをしてまいります。

また、市の十年後、二十年後を見据え、「住んでよかった」と思っていただけのような、地域の活性化や子育て支援、安心安全なまちづくりなどの様々な施策を全力で推進してまいります。

結びに、皆様にとって、充実した一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も
よろしくお願
いいたします



議長

青木 章

副議長

四本 奈緒美

議員（議席順）

高野 優一
小泉 圭司
宮澤 大地
芦葉 弘志
坂本 達夫
小林 英雄
枝久保 喜八郎
木村 治夫
松田 雅代
小河原 浩和
本沼 諤子
藤沼 泰二
大平 泰二



(議案第98号)

令和7年度幸手市一般会計補正予算

可決

- ① 令和7年人事院勧告に基づき行われる給与改定に対応するため必要な予算
- ② 令和7年度国の経済対策に基づく、物価高対応子育て応援手当の支給に係る事業費
- ③ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源とし、物価高騰の影響を受ける事業者等への支援に係る事業費
 - 1 令和7年人事院勧告に基づく給与 88,000千円
 - 2 物価高対応子育て応援手当支給事業 126,152千円
 - (1)概要 物価高の影響を特に強く受けている子育て世帯を支援するため、令和7年9月30日時点で児童手当の対象となっている子ども、または令和8年3月31日までに出生した子どもの保護者等に対し、物価高対応子育て応援手当として、子ども一人当たり2万円を支給します。
 - (2)事業費 物価高対応子育て応援手当費 20,000円×対象者6,000人
 - 3 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業 36,213千円
 - (1)福祉、医療機関等支援事業 15,169千円
 - (2)農業者支援事業 21,044千円

12月定例議会

12月定例議会は11月28日から12月17日までの20日間で開催

- 市長提出議案27件中27件が可決となりました
- (専決第10号)控訴の提起について(議案37号)…………… 否決
- 市役所本庁舎を早急に使用禁止とすることを求める決議案…………… 否決
- 木村純夫市長に対する問責決議案…………… 可決

令和7年12月定例会
本会議議案質疑及び
討論

(議案第37号)
専決処分の承認を求
めることについて

否決

継続審査になっていた議案

原告(被控訴人)が、令和2年度分の時間外勤務手当に未払いがあることを理由にその支払いを求め、本市を被告(控訴人)としてさいたま地方裁判所に訴えを提起した。

さいたま地方裁判所から言い渡された判決に、不服があるため控訴を専決処分にておこなったことの承認は全会一致にて否決となった。

反対討論

小泉 圭司

市は控訴期限まで約2週間あつたにもかかわらず、臨時議会の招集や議会への正式な情報提供を行わず、執行部内部の判断のみで専決処分により控訴を行いました。

また、総務常任委員会で市長は、否決時に控訴を取り下げる可能性を示しましたが、既に控訴手続や公金支出が進んでおり、説明と対応に不整合がありました。

さらに、市の控訴理由は、労働時間の認定に関する判例と整合せず、控訴判断の根拠として妥当ではないと考え、本議案に反対します。

反対討論

松田 雅代

私は、市が主張する「給与条例主義、すなわち、条例に規定

されない理由による給与支払い
は可能か」との問題提起は正当
であり、高裁の判断を仰ぐ控訴
は一定の意義ありとの考えか
ら、控訴の提起には賛成の立場
です。しかし、先決処分行為に
ついては、議会で諮るべきだつ
たとの執行部の事後自省もあ
り、今更ながら適切ではなかつ
たと判断せざるを得ません。裁
判事案については早急な再発防
止の取り組みを、また、先決処
分は取り扱いのあり方見直しを
改めて要望し、本案は総合的に
鑑み不承認といたします。

反対討論

本田 諤子

この議案は新聞記事になった
時から、私は状況判断をし、市
長へ臨時議会の開催を要望致し
ましたが、専決処分となつてし
まいました。議会に対しては事
後報告のようなもので、議会軽
視とは思えませんでした。
また、委員会審議では、沢山
の質問があり、議会で決めたこ
とに従う方向性も見えてきたの
に継続審査となり、6月、9月、
12月議会となりました。
すべてにおいて、幸手市申し
て幸手市議会の検証が必要と申
し添え、反対討論と致します。

**(議案第72号)
損害賠償の額の
決定について**

可決

現在、控訴中の未払時間外勤
務手当等請求控訴事件の相手方
に対し、未払時間外勤務手当の
支払完了日は、令和7年10月14
日。支払内容は、支払完了日ま
での民法所定の年3%の割合に
よる遅延損害金の支払いが可決
した。未払時間外勤務手当11
万6929円に対する遅延損
害金(15万8193円)を一
括して支払う。

**(議案第74号)
幸手市特定乳児等
通園支援事業の運
営に関する基準を
定める条例**

可決

新たな子育て支援策として
「こども誰でも通園制度」の準
備が進められ、幸手市では第一
保育所を拠点に、令和8年度か
ら0〜3歳未満の未就園児が月
10時間まで利用できる仕組みが
導入される。

**(議案第81号)
工事請負契約の
変更について**

可決

東中学校校体育館の大規模改修
工事については、電気資材の入
荷遅れによる工期延長に加え、
老朽化に伴うサッシ補修や床下
基礎の追加施工、木部塗装、屋
根・外装補修など、安全性確保
のための追加工事が必要とな
り、工事費が増額された。

**(議案第92〜93号)
幸手市議会の議員の
報酬及び費用弁償等
・幸手市長等の給与等
に関する条例の一部
を改正する条例**

可決

令和7年人事院勧告に基づき
給与改定。
期末手当支給割合(年間)
・幸手市議会 4:60 ↓ 4:65
・幸手市長等 4:60 ↓ 4:65

**(議案第94号)
幸手市職員の給与に
関する条例の一部を
改正する条例**

可決

職員人件費の改定
給料表の改定 改定率3・34%
期末手当 2・50 ↓ 2・525
勤勉手当 2・10 ↓ 2・125

**(議案第97号)
裁判上の和解につ
いて**

可決

質疑
今回の責任は市長にあるとの
答弁だが、市民の税金を使い上
告したことについて、市民への
謝罪等のコメントはあるか。

答弁
市民への謝罪の方法、内容等
を含めて、本件について、出来
るだけタイムリーに内部で整理
していきたいと思えます。

質疑
労働基準法に違反することな
く時間外勤務手当を支給するこ

と、イコール時間外勤務命令簿という考え方は、通用しないのではないかと。

答 弁

時間外勤務を請求しなかった職員は、速やかに退庁するように促してゆく管理を進める。また、タイムカード等、これから電子的退勤管理を予定しております。

質 疑

裁判で今まで弁護士に払った費用、これから払う予定の費用は。

答 弁

一審、二審とも66万円ずつです。ただ、控訴審は、手付金として、33万円支払済です。今後残りの33万円を支払い、一審、二審合せて132万円です。

質 疑

司法に委ねる判断を下すまでの内部議論、出来る話合い、和解で事を収める努力は。

答 弁

今回いきなり訴訟の形で、代理人との対話でした。今後職員

と執行部との在り方、また市民と行政の在り方、信用していただけの行政になり、対話の中でしっかり解決する市役所を目指します。

質 疑

人事評価という観点で、先入観が万が一あったとすれば、それは裁判に持ち込んではいけない感情ではないのでは。

答 弁

人事管理において、部課長会議等で、情報・意見交換をしながら信頼関係を構築し、さまざまなことがあっても相談出来る体制を諮ってゆく。

質 疑

控訴審したことによって総額432万円では。

答 弁

2回分の弁護士費用全部入れて261万円です。控訴しなかった場合は、弁護士費用含めて300万円となります。

賛成討論

本田 諤子

議案第97号「裁判上の和解について」に賛成の立場で討論い

たします。この議案につきましては、控訴以前から認めないという姿勢を貫いてまいりました。が、今回、和解の運びとなり、やむを得ないという判断から賛成といたします。

(決議案3号)
大きな地震から市民の命、職員の命を守るため、耐震上問題のある市役所本庁舎を早急に変更を求め、早急に対応を要望し決議案とする。
決 否

市役所本庁舎は耐震性が不足し、倒壊の可能性が高いと診断されている。

令和7年9月7日に防災訓練が行われ、地震による危険を再認識した。

市民と職員の命を守るため、早急に本庁舎の使用禁止を求め

反対討論

松田 雅代

市庁舎など行政財産の管理権は地方自治法により市長、執行部にあると定められています。議会には直接的な使用命権はなく、決議結果の遂行に責任は持てません。提出者の思いと現

状への危惧は共有しますが、議会として決議する内容ではないと判断します。

しかしながら、市長には本庁舎の耐震性の脆弱さを鑑み、最高位の対応により、庁舎建設計画の遅延がないよう、また、日々の本庁舎の適切な使用・維持管理の徹底を改めて要望し決議案への反対討論といたします。

賛成討論

小泉 圭司

市役所本庁舎は、耐震基準を満たしていないことが検査で明らかになっています。市民や職員が日々利用する行政の中核で、この状態を放置することは命を危険にさらします。市長も「命を守ることは最優先」と答弁しており、その基準に照らせば、耐震性に問題のある庁舎を使い続けるべきではありません。大地震はいつ起きてもおかしくなく、事前の判断が命を守ります。建て替えまでの期間も含め、早急に使用を禁止し、安全な代替施設へ移行すべきと考え、本決議案に賛成します。

反対討論

高野 優一

令和6年12月に策定された「幸手市庁舎整備基本構想」は、

将来の庁舎のあり方を示す大切な一歩です。この構想に基づき、基本計画から着工まで着実なプロセスが進行しています。

現時点での庁舎使用禁止決議には、以下の理由から反対いたします。

計画の尊重・建て替えに向けた具体的な計画が進行中であり、そのプロセスを尊重すべきです。市民サービス維持の懸念・代替施設がない現状では、移転により市民サービス低下を招く恐れがあります。長期的な安全性・根本的な安全確保と機能向上には、建て替えが最も望ましいと考えます。

(決議案4号)
木村純夫市長に対する問責決議

可決

市長と議会は二元代表制の下で対等に協力・牽制すべき関係にある。しかし、市職員による提訴や判決後の控訴について、市長は議会への十分な報告や説明を行わず、議決が必要と知りながら専断処分を行った。結果、議会での議案の採決は全会一致で不同意とした。これらは議会

軽視に当たるとして、市長に猛省を求める。

賛成討論

坂本 達夫

木村純夫市長に対する問責決議に対し、賛成する立場から討論を行う。

この件は、幸手市が訴えられた未払時間外勤務手当等請求事件の判決に対する控訴の提起について、市長が議会の議決を経ず専断処分をしたことが問題となっている。

幸手市は、裁判の被告であるから、判決が出たらどう対処するか、事前準備が不可欠であったが、市長はこれを怠り、臨時議会を招集する時間がなくなつた。これは、議会軽視と言わざるを得ない。今後このようなことのないよう、木村純夫市長に反省を求める。



総務常任委員会

令和7年度幸手市一般会計補正予算(第8号)
(議案第82号)

問 国庫支出金として生活保護費負担金が補正で計上されている。これは当初の想定より生活保護世帯が増えたという認識でよいのか。

答 生活扶助費・医療扶助費・介護扶助費が増額となっている。景気動向などの影響も考えられる中、当初予算ベースでは不足が見込まれ、それに対応するため増額したものである。

問 債務負担行為補正の件数が大幅に増えている。どのような基準で対象事業を選定しているのか。また今回計上されている事業は新規事業なのか、継続事業なのか。

答 今回追加した債務負担行為は、すべて継続事業である。いずれも4月1日から役務の提供やシステム利用を開始する必要がある事業で、少額かつ随

意契約が可能となっている。これまで年度当初に契約事務が集中。4月1日の事務が非常にタイトとなり、職員の負担増や時間外勤務の増加に繋がっている。事務の効率化の観点から、今回まとめて設定をした。

問 保育所給食調理事業について、金額が増額されているが、その理由と事業内容は。

答 公立保育所(第1・第2・第3保育所)の給食調理業務を民間に委託している事業。

令和8年度から令和10年度まで役務の提供を受けるため、令和7年度中に契約を行う必要がある。

当初9月議会での補正予算時点の見積りで計上していたが、その後、人件費高騰等により、実際の入札準備を進める中で不足が見込まれることが判明したため、必要額を追加計上したものである。



文教厚生常任委員会

幸手市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例（議案第74号）

問 定員6名の根拠は。

答 第1保育所の一時保育の定員がおおむね6名であり、同様の考えで定めた。

問 申込が定員を超えた場合の対応は。

答 国の基準に従い、定員を超える場合は安全性確保のためお断りし、別日に変更対応する。

問 ゼロ歳児のミルク提供はあるか。

答 持参いただき、保育所で対応する。

問 面談はオンライン可能か。

答 幸手市では直接面談のみ実施。

幸手市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（議案第79号）

問 学校運営委員会の委員は現在何名か。

答 今年度は168名を委嘱している。

令和7年度幸手市一般会計補正予算（第8号）
（議案第82号）

問 公民館LED化工事の対象館と、工事完了予定は。

答 中央、北、南、東、西の全5館で、今年度末までに契約、来年度早期完了を目指す。

問 東公民館空調機器新設工事の内容と工事完了予定は。

答 故障している図書コーナーと調理実習室の空調機器を新設。3月までに完了予定。

建設経済常任委員会

令和7年度幸手市一般会計補正予算（第8号）
（議案第82号）

問 道路補修工事963万円について伺う。

答 昨年度の道路補修費が約7

000万円であったのに対し、今年度の現計予算は6000万円であり、もともと予算が少ない状況である。現在の予算は12月にはほぼ底をつく見込みであるため、追加の予算を要求した。幸手市内の道路は全体的に補修が必要な時期に来ており、今後予算がかさむと見込まれる。



みんなで行こう
幸手市議会報告会

開催日 令和8年2月7日（土）
10時から 12時まで
開催場所 幸手市役所第2庁舎 第1会議室

グループ対話で
声をカタチに

アイデアを
市政に届けます

事前申込み不要!!

問い合わせ先
0480-43-1111
gikai@city.satte.lg.jp

主催：幸手市議会

市政に対する

一般質問

今定例会では、13人の議員が12月1日、2日、3日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

芦葉弘志議員

- 市民目線の行政について
- 給食費無償化について
- 環境等の課題について

坂本達夫議員

- 千塚西公園野球場は、市民の憩いの場に変更を、について
- 交通事故から児童・生徒を守るために都市計画道路杉戸幸手栗橋線の早期整備を、について
- 自治会への加入推進について
- 高齢者のゴミ出し支援について

宮澤大地議員

- 幸手市の空家対策について
- 自校式による「おいしい給食」について
- 市役所の開庁時間見直しとA1活用による働き方改革の推進について

小河原浩和議員

- 教育施設等の有効活用について
- 統廃合により、廃校となる4小学校のそれぞれの思い出の品の保存について

高野優一議員

- 地域計画から除外される畑の未作付けの対策について
- 市営釣場の次回指定管理業務に向けての対応策について
- 幸手インターチェンジの西側地域の土地利用構想の位置づけと、東さくら通り延伸検討路線の格上げについて

四本奈緒美議員

- 介護福祉施設の人材不足を担う有償ボランティアのマッチングサービス「スケッター」の活用について
- 乳がん検診について
- 幸手市の公共交通について

松田雅代議員

- 幸手市立東小中学校開校に向けた他の中学校区への対応について
- 令和9年1月より「市が運行する公共交通の考え方(案)」について
- 都市計画道路「杉戸幸手栗橋線」の整備推進について

本田謡子議員

- ハラスメントと市の対応について
- 介護申請の手続きについて

小林英雄議員

- 市長公約について
- 市所有地について

小泉圭司議員

- 公共施設再編における市民の安心安全の確保について
- 公民館等の設備不具合に対応する計画的な更新の進め方について
- 農業法人誘致に伴う道路整備と環境整備の推進について
- 空き家・空き店舗の活用と地域の居場所づくりの推進について

木村治夫議員

- 市内の交通安全対策について
- 市内防犯体制の強化について

枝久保喜八郎議員

- 幸手市経済の現況と今後について
- 公職選挙法について

藤沼貢議員

- ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手について

12月定例会 会期日程

11月28日(本会議)	開会
11月27日(本会議)	議事日程の報告
11月26日(本会議)	会議録署名議員の指名
11月25日(本会議)	会期の決定
11月24日(本会議)	報告事項
11月23日(本会議)	理由説明
12月1日(本会議)	議事日程の報告
12月2日(本会議)	市政に対する一般質問
12月3日(本会議)	議事日程の報告
12月4日(本会議)	市政に対する一般質問
12月5日(本会議)	議事日程の報告
12月6日(本会議)	市政に対する一般質問
12月7日(本会議)	議事日程の報告
12月8日(本会議)	議案に対する質疑
12月9日(本会議)	議案に対する質疑
12月10日(委員会)	総務常任委員会
12月11日(委員会)	文部常任委員会
12月12日(委員会)	建設経済常任委員会
12月17日(本会議)	議事日程の報告
12月18日(本会議)	委員長報告、質疑、討論、採決

12月定例会

傍聴者
32人 の方が傍聴されました。
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。
10月・ 391件 11月・ 293件 12月・ 2839件 の方が視聴されました。
配信、動画サイトは こちら→ 



坂本達夫議員



千塚西公園野球場は、市民の憩いの場に！

Q 令和6年度において、千塚西公園野球場を利用した時間は、全体の貸出時間の4%ほどで、ほとんどが利用されていない。その上、1年間の使用料収入は8万円、野球場の年間整備費は150万円ほどかかったという。これでは、効率的に野球場を運営しているとは、いえないのではないか。地

A 現在、球場は一定数の利用団体が継続的に利用しており、活動の場として重要な役割を果たしている。また、公園全体として、現時点においても市民の憩いの場として利用されているものと考えている。さらに、利用収入は指定管理者

の貴重な財源となっている。これらの状況を踏まえると、今後の方向性については、利用状況の分析や利用者のご意見等を参考に、また、指定管理者と協議を行いながら、慎重に検討していく。

(市長)



芦葉弘志議員



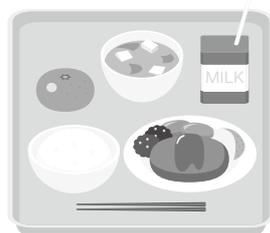
給食費無償化について

Q 国が令和8年度に小学校が無償化になった場合の幸手市における中学校までの無償化の可能性について市長に伺う。
児童生徒間の公平性の観点で、アレルギー体質や不登校などで給食を喫食しない児童生徒で無償化の恩恵が及ばないという問題が文部科学省でも議論さ

A 給食費の無償化につきましては、国の動向とは関係なく令和8年度から本市独自の施策として、市内の小中学校に在籍する児童生徒と、市内在住で特別支援学校に在籍する児童生徒を対象に実施します。なお、アレルギー体質や不登校などで給食を喫食しない児童

生徒への対応については、国の制度設計の動向を注視するとともに、先進自治体の事例なども踏まえて検討しているところで

(市長・教育部長)





小河原浩和議員



Q 幸手市民具資料館（旧吉田中学校木造校舎）の建設に当たり、地元住民との関わり合いやその経緯。歴史的、文化的な価値について市は調査や研究をしたのか。そして市は今後この木造校舎をどの様に扱っていくのか伺う。

A 旧吉田中学校木造校舎は、昭和22年に地元住民の強い要望のもと、戦後の財政難や災害の困難を乗り越え建てられた歴史的背景を持つ。日本工業大学勝木研究室の調査・研究の結果、戦後間もない時に建設された新制中学校の木造校舎として埼玉県唯一の現存例で希少性が高いことが判明。また、卒業生等への聞き取り調査では、地域住民の心の拠り所だと確認された。今後も引き続き郷土資



（教育部長）

料館の展示公開施設として活用するほか、併せて国登録有形文化財を目指す。

教育施設等の有効活用について



宮澤大地議員



Q 人口減少や相続の問題など背景に、市内の空き家は増え続けています。倒壊や衛生面の不安もあり、早急かつ、実効性のある対応が必要です。まずは空家等対策の進捗状況について伺います。
また以前、提案をした解体に対する補助金制度について。老朽化した空き家の解体には多額

の費用がかかることから、所有者が動きやすくする仕組みが不可欠であると考えます。
補助制度の検討をしているか、合わせて伺います。
A 空家等対策の基本となる「幸手市空家等対策計画」の素案がまとまりましたので、パブリックコメントを行い、令和8年3月に完成させ、公表する予定です。
空家等の解体に対する補助金

につきましては、素案に掲載したとおり、昭和56年以前に建てられた旧耐震基準の空家を除却する際に、補助金を交付する制度を考えています。
実施時期や補助額など、詳細は未定ですが、空家等の解消に効果が期待できるものと考えますので、早期に実施できるよう努めてまいります。

（市民生活部長）



四本奈緒美議員



介護人材のすそ野拡大「スケッター」の活用を

Q 「スケッター」とは、手伝いを依頼したい介護施設と、手伝いをしたい人を結ぶ有償ボランティアのマッチングサービスである。幸手市内介護施設が、現在抱える困りごととは何か。幸手市に於いても将来を見据えた持続可能な介護人材の確保と質の高い介護サービスの提供

A 介護施設が抱えている困りごとについては、「第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を策定する際、介護サービス事業者を対象としたアンケート調査を実施し、その結果から、介護施設等の現場においては人材確保に課題を抱えている状況であると認識している。



(健康福祉部長)

「スケッター」の活用については、国のモデル事業や他自治体の取組状況を確認し、本市で実施した場合の成果や課題を整理したうえで、総合的に判断する。



高野優一議員



地域計画から除外される畑の未作付けの対応

Q 幸手市では他の地域と同様に、農業者の高齢化や後継者不足、農業資材の高騰等が原因で耕作放棄地が増えています。耕作放棄地が増加すると雑草や病害虫の発生により周辺農地や生活環境に悪影響を及ぼす可能性があります。この様な状況から、農業経営基盤強化促進法

A 市街化区域を除く地域の5地区に分割し、令和7年2月までに地域計画を策定しましたが、耕作条件の悪い一部の畑では担い手のいない耕作の改正が行われ、農地バンクを利用した農地の集約化等を推進する地域計画が策定されることになりましたが、小規模・不整形等の条件不利な耕作放棄地について、市はどの様に支援、対応していくのか伺います。

放棄地が発生しています。市の支援、対応としては、担い手不足や耕作放棄地の増加に悩む地域を対象に、新たな担い手を地域外から誘致し、農地バンクの活用による農地のマッチング支援を実施しています。この取組みのなかで、耕作放棄地の解消に努めてまいります。

(建設経済部長)



本田謡子議員



全職員がハラスメント調査へ

Q 職員が安心して仕事に向かうには、その環境づくりが大切だと考えます。近年、いろいろな場面でハラスメントが問題になります。そこで、本年の職員組合のハラスメント調査状況は以前と比べてどうなのか、変化があれば何う。また、全職員に対し、幸手市独自のハラスメント調査が必要と考える

A 幸手市役所職員組合が行ったアンケートの結果報告書によりますと、昨年度に比べて、今年度はハラスメントについて、より詳細なアンケートをとったようです。ご質問のハラスメント調査については、職場環境の現状を把握するためには、有効な手段であり、必要であると考えております。そのため、担当課には、

ハラスメント防止マニュアルの作成に併せて、基礎資料となるアンケート調査の実施について検討するよう指示をしました。

(市長・総務部長)



松田雅代議員



義務教育期間9年間を俯瞰した小中学校の連携強化を

Q 現東中学校校区は各学校の小規模化が進んだことで、長期的に効率的かつ持続可能な学校運営を目指すことを目的に、令和9年度より小中一貫義務教育学校として再編される。学校の 尖った 特徴を打ち出すとともに、移住相談なども併せて、市内外からの編入・入学者を迎えてほしい。

A 東小中学校の義務教育学校制度により得られる教育的成果や、運営上の諸課題を市全体で共有し、他の校区の教育活動の充実につなげることを

は大変重要である。幸手中学校区・西中学校区における小中連携の改善、学力課題の解決に資するものであり、積極的に活かしたいと考えている。東小中学校の教育実践の蓄積や成果・課題を明らかにし、各校区の実情に応じて情報共有の在り方や、協議の形を検討し、市全体の教育力の向上につなげていくように努める。

(教育部長)



小泉圭司議員



Q 小学校の統廃合や跡地館など他の公共施設の再編方針が示されていない状況では、市全体として最適な施設配置を判断することができません。跡地だけが先行すれば、公民館の老朽化対策や改修計画が後追いとなり、二重投資やサービス低下を招く恐れがあります。学校跡

A 小学校の統廃合や跡地館など他の公共施設の再編方針が示されていない状況では、市全体として最適な施設配置を判断することができません。跡地だけが先行すれば、公民館の老朽化対策や改修計画が後追いとなり、二重投資やサービス低下を招く恐れがあります。学校跡

学校跡地と公共施設再編の整合

Q 小学校の統廃合や跡地館など他の公共施設の再編方針が示されていない状況では、市全体として最適な施設配置を判断することができません。跡地だけが先行すれば、公民館の老朽化対策や改修計画が後追いとなり、二重投資やサービス低下を招く恐れがあります。学校跡

A 市全体の施設の最適化について、画一的な判断をせず地域の意見などを踏まえながら進めてまいります。そのため、小学校閉校後の跡地活用や市庁舎整備の方針において、施設・機能ごとに総合

的な観点から、集約・複合化を検討しているところですが、検討に当たっては、公共施設等アセットマネジメントの推進に関して全庁的な検討及び判断を実施する、幸手市公共施設等アセットマネジメント推進会議にて検討を行ってまいります。
(総合政策部長)



小林英雄議員



Q コストコ選挙から2年経過した今も何ら進展が見られず、市民の大きな期待を裏切る結果になっている。実際にコストコ誘致に成功した明和町の首長は、厳しい条件の中でも自ら各方面に奔走し、トップセールスを行っていた。この誘致までの経緯を比べると、市長が誘致をあきらめたかのように

A 「大規模ショッピング施設の誘致」ですが、現在、企業が立地可能な場所や立地基準などについて検討を進めています。

今後、内容が整い次第、具体的な提案を行ってまいります。また、条件等の精査を行い、企業への対話の準備が整いましたら、積極的に、私自らが企業へ赴き、トップセールスを行ってまいります。
(市長)

コストコ誘致未だ進展なし



枝久保喜八郎議員



寄付行為が公選法違反となる定義について

Q 本年7月の地域の夏祭り、10月に開催された市民まつりに、議員が関わる会社が寄附をしていたことが明らかになりました。どちらか、それを示す寄附看板やチラシに会社名が記されておりました。特に夏まつりへの寄附は、寄附者の中でも最も多い高額寄附で有ることがわかります。

A 公職選挙法は、選挙が各個人の自由な意思で行われること、もしくは公正に投票事務を行うといった選挙の基本的なものを定めた法律です。選挙違反については「票の獲得誘導に関するもの」や「寄附

の禁止に関するもの」などの多岐に渡りますが、選挙違反が行われた場合には、罰金などの刑罰が科されるほか、選挙権の停止などの措置がとられることとされており。

(選挙管理委員会書記長)



木村治夫議員



市内交通安全対策は喫緊の課題

Q 真に豊かで活力ある市を構築する為には、市民の安全・安心を確保することが極めて重要、市内生活道路での交通事故が多発、人命尊重・人優先の街を強力に推進すべき。(1)市民への交通安全意識向上対策は、(2)交通環境の整備は、(3)生活道路上の路面標示、特に横断歩道、通行区分帯、停止線

A 安全の確保や事故リスクの低減を図るため、安全配慮の必要性の高い場所から順次交通安全施設の整備を行っている。また、小中学校をはじめ広く市民に交通ルールとマ

ナーの遵守を周知し交通安全意識の高揚を図っている。ゾーン30の新設要望はないが更なる安全対策として、令和8年9月に道路交通法施行令の一部改正により生活道路の法定速度が見直しされる。

なお、交通安全基金の創設については、そのメリットなどを今後調査研究し検討していく。

(市民生活部長)

議会の傍聴

しませんか

議会はどなたでも傍聴できます。
事前予約は不要です。
先着順で25席程度（報道席も含む）
当日市役所3階議会事務局にお越しください。



次の議会は**3月**

詳細な日程は議会事務局まで

傍聴の詳細なルール
はこちらから ▶



人事案件

監査委員 丸山 洋之氏
を選任することに同意しました。

固定資産評価
審査委員会委員 駒橋 明彦氏
を選任することに同意しました。

人権擁護委員 小林 達郎氏
小林 弘和氏
高島 勝也氏
を推薦することに同意しました。



藤沼 貢議員



ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手について

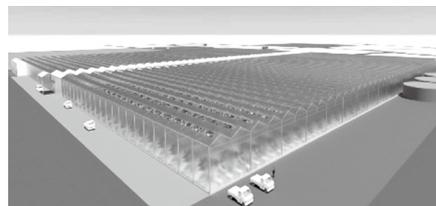


ゆめファーム全農ト
レーニングセンターの建
設内容について本件に係る建築
物はどのような物が、建築物の
種類、建築面積、棟数について
伺う。
また、この事業がどのような
振興されるのか。さらにこの施
設が今後まちづくりに影響を持
つのか伺う。



J A全農では、軒高6
m、3ha規模の温室施
設を3棟建設することを計画し
ている。そのうち1棟は、令和
8年9月に工事が完成する予定
である。
この施設では、4名の研修生
を対象に施設園芸の栽培技術と
温室運営ノウハウを習得するた
めの実践的な研修が行われる計
画である。また、収穫された野
菜については、市内小・中学校
の学校給食への提供や市内の農

産物直売所での販売なども計画
しているとの話を伺っている。
(建設経済部長)



J A全農トレーニングセンター幸手 完成イメージ

令和7年12月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 市民の幸せをつくる会…幸 自由民主党…自 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…(○:賛成 ×:反対 退:退席 欠:欠席)
(幸手市長提出議案)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1 高野 優一(無)	2 小泉 圭司(幸)	3 宮澤 大地(無)	4 芦葉 弘志(公)	5 四本奈緒美(公)	6 坂本 達夫(幸)	7 小林 英雄(無)	8 枝久保 晋八郎(無)	9 木村 治夫(自)	10 松田 雅代(無)	11 小河原 浩和(緑)	12 本田 諤子(無)	13 藤沼 貢(自)	14 青木 章(緑)	15 大平 泰二(共)		
議案第74号	幸手市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第75号	幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第76号	幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第77号	幸手市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第78号	幸手市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第79号	幸手市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第80号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第81号	工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第82号	令和7年度幸手市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教 建設	賛成全員可決
議案第83号	令和7年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第84号	令和7年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第85号	令和7年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教	賛成全員可決
議案第86号	令和7年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設	賛成多数可決
議案第87号	令和7年度幸手市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設	賛成全員可決
議案第88号	令和7年度幸手市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設	賛成全員可決
議案第89号	令和7年度幸手市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設	賛成全員可決
議案第90号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第91号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第92号	幸手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成多数可決
議案第93号	幸手市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成多数可決
議案第94号	幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第95号	幸手市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第96号	幸手市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第97号	裁判上の和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成多数可決
議案第98号	令和7年度幸手市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第99号	令和7年度幸手市水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第100号	令和7年度幸手市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意

(議員提出議案)

決議案第3号	大きな地震から市民の命、職員の命を守るため、耐震上問題のある市役所本庁舎を早急に使用禁止とすることを求める決議(案)	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	—	賛成少数否決
決議案第4号	木村純夫市長に対する問責決議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成多数可決

*議長は表決に参加しないため、「—」となっています。

お詫びと訂正 市議会がよりさって11月号に誤りがありました。お詫びして訂正します。

- 16ページ 議案58 幸手市下水道条例の一部を改正する条例 (誤)賛成全員 (正)賛成多数
- 議案62 令和7年度一般会計補正予算 (誤)賛成全員 (正)賛成多数
- 議案71 幸手市長の給料の減額に関する条例 (誤)賛成全員 (正)賛成多数

議会広報編集委員

委員長 青木章
副委員長 四本奈緒美
委員 高野優一
委員 小泉圭司
委員 宮澤大地
委員 芦葉弘志
委員 木村治夫
委員 松田雅代
委員 小河原浩和

編集後記

権現堂桜堤で行われた「幸手スカイランタンまつり」では、冬の夜空に、まるで桜が咲いたかのような幻想的な光景が広がりました。ランタンを空高くあげる来場者の笑顔から、地域の力を強く感じるイベントとなりました。市内ではさまざまな団体が、それぞれ工夫を凝らし、熱心に事業に取り組まれており、地域全体が活気に包まれています。このような市民主体の活動が、幸手の魅力と賑わいを支えています。幸手市議会としても、地域の力強い活動を大切にしながら、まちの未来に繋げていきたいと考えています。

市議会だより
バックナンバーは
コチラ↓

